

6.1 有形効果：

品質マネジメントシステム IS09001 と合わせて、リスクアセスメント、安全方策の標準化が進行している。

6.2 無形効果：

開発・設計者にリスクアセスメント、安全方策の意識が浸透しつつある。

6.3 投下費用

製品全体に占めるコスト割合は小さいが、制御システムのコストとしては、ある程度、インパクトがある。しかし、ユーザーに安全・安心な機械を提供できることは大きな効果と考える。

6.4 その他、問題点など

安全方策を追加しても、大幅な機械のダウンタイムを招かないように、バランス良く、安全・安心な機械を設計し、ユーザーに提供することを、メーカーとしては常に考えなければならない。同時に、機械に対するお客の安全意識のレベルアップも進めていかねばと考えている。